

市のイメージソングができました。

輝く刻ときの中で

作詞…松本弘紀 補作詞…安岡信一・本多哲郎
作曲…安岡信一・本多哲郎

1. 見えていますか きらめく光が

滝にみなぎり川面かわもを渡り

ただ穏やかに大地を照らして

花の香りをつくり海に変わる

その恵みを浴びて人は生きてゆく
繋つなぎ繋つなぎながら幾千の刻ときの中で

伊都国の詩うた 想いを乗せて

この空に舞い上がれ輝くように

寄り添う花と寄り添う風と

このまちはいつまでも笑顔をつくる光

2. 海の青さをすくいとって

木々の緑と季節を歌う

優しい風がこのまちに吹く

乾いた心がまた癒された

歩きなれた道で 見つけたこの花は

同じ夢をみてる 幾千の刻ときを越えて

伊都国の詩うた 想いを乗せて

この空に舞い上がれ輝くように

寄り添う花と寄り添う風と

このまちはいつまでも笑顔をつくる光

巡り巡り合って君は生きてゆく

結び結び合って幾千の刻ときをきざむ

伊都国の詩うた 想いを乗せて

この空に舞い上がれ輝くように

寄り添う花と寄り添う風と

このまちはいつまでも笑顔をつくる光

全国から寄せられた
238点の歌詞の中から、糸島の情景が思い
浮かび、郷土愛と一体
感を生む優れた作品と
して糸島市イメージソ
ング『輝く刻の中で』が
出上がりました。
松本弘紀さんが書い
た歌詞を、唄人羽が補
作・作曲し、心に響く、
スケールの大きな歌が
誕生。広く市民に愛さ
れる歌として、駅や商
店街などで、今後耳に
することがあるでしょう。
みなさんも、イベントな
どで歌ってください！

写真／志摩野辺の海岸より可也山方面を望む

糸島の素晴らしい情景、思い浮かべて

曲を作るに当たり、2日間かけて糸島を巡ってみました。そこには、山・川・海など大
大な自然が広がり、笑顔溢あふれる人々との出会いもありました。2000年以上前の太古から
あったという、伊都国と中国・朝鮮半島との交流の歴史には、大変な感銘を受けました。

曲は、そうした糸島の素晴らしい情景が目浮かぶように、中国の楽器・二胡にこを随
所で使用しています。

子どもからご年配の人まで、みんなに歌ってもらえるよう、音域も工夫しています。こ
のイメージソングが、みなさんの心に浸透していったら嬉しいです。

守っていききたい、今ここにある「絆」

7年前、豊かな自然と人の温かさに魅かれ、福岡市から糸島へ引っ越し
てきました。今回応募した歌詞は、私が常日ごろ感じている想いをそのまま
形にしたもの。作詞は初めての経験でしたが、1日で書き上げました。

この街には、老若男女問わず、人と人の「絆」が本当にある。そして伊都国
の歴史、穏やかな風景がある。それは、誇るべき糸島の姿。発展だけにとら
われず、今後もずっと守っていかなければならないものだと感じています。



歌詞公募で最優秀賞を受賞した
松本弘紀ひろきさん
(二丈浜窪在住)



本多哲郎さん(左)
安岡信一さん(右)

歌詞補作・作曲を担当

福岡発男性フォーク・デュオ **唄人羽**
うたいびと はね